

項目	幸せの尺度となる感情	設問	「はい」の割合(%)	全設問での 幸せ感順位	全項目での 幸せ感順位	結果概要	
生活基盤が整ったまち 	「うれしい」 「便利だ」 「ありがたい」	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	33.2		15	「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」は66.8%で、全設問中4位です。 一方で、「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」の33.2%は、全設問中最下位で、「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」についても、低調であったため、全項目中最下位となりました。	
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	48.1	49.4	12		5
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	66.8		4		
安全なまち 	「ほっとする」 「ありがたい」	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	82.0		1	全ての設問で5割を超える方が幸せ感を感じており、全項目中1位です。 中でも「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」が82.0%で、全設問中でも1位です。 一方で、住民の防災意識などの高さや安全に関して自ら活動に参加することの設問については、10位、11位となっており、幸せ感に大きな差があります。	
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	52.2	62.0	10		1
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	51.9		11		
安心できるまち 	「ほっとする」 「うれしい」 「ありがたい」 「充実感がある」	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	59.8		8	自分の健康管理に日頃から気を付けている方が78.8%で、全設問中2位です。 一方で「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、34.5%と全設問中でも14位で、この項目の中で、目立って幸せ感が低くなっているため、全項目中4位となりました。	
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	78.8	57.7	2		4
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	34.5		14		
心にゆとりを感じるまち 	「うれしい」 「楽しい」 「心地よい」	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	65.5		5	全項目中2位です。すべての設問で5割を超える方が幸せ感を感じており、最もバランスがとれている項目です。	
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	60.4	60.9	7		2
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	56.6		9		
大竹を愛する人づくり 	「うれしい」 「好きだ」	大竹のよいところを知っている	47.2		13	全項目中3位です。「あなたの暮らす地域が好きだ」は70.6%で、全設問中3位です。 一方で、「大竹のよいところを知っている」は、47.2%で、2つの幸せ感に大きな差(23.4ポイント)があります。	
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	63.3	60.3	6		3
		あなたの暮らす地域が好きだ	70.6		3		
問1全体			58.1			「はい」と答えた方の割合は、58.1%です。	
市民自治 		あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	61.1	55.2		問2全体で、「はい」と答えた方の割合は、55.2%です。自分の暮らす地域について、普段から関心を持っている方が、約6割。また、実際に何か地域に貢献したいと思っている方も約5割います。	
		自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	49.4				



「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」結果発表 No.1

問い合わせ 企画財政課 ☎2125

今年3月に第五次大竹市総合計画「わがまちプラン」を策定したことを契機に、新しい施策評価である本アンケートを実施しました。

「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」は、市民の誇りや幸せ感を高め、わがまちプランのまちづくりのテーマである「大竹市に住んでよかった」と思えるような今後のまちづくりに役立てていきます。
有効回答数は316件で、回収率は21・1%でした。
ご協力ありがとうございました。

調査方法

市内在住の満18歳以上の方を対象に、市内全域から1、500人を選び、アンケート形式で調査を行いました。

調査内容

問1 わがまちプランの基本目標に関連する5項目について、それぞれ幸せ感を量る尺度を設定し、15の設問ごとに「はい」、「いいえ」の2択のほか、主に心配に思っていることを自由記述で回答

問2 市民自治についての考えを「は

い」、「いいえ」の2択と自由記述で回答

問3 幸せ感を高めることの提案を、自由記述で回答

問4 どのような時に幸せを感じるかを自由記述で回答

分析方法

問1 各項目・各設問で「はい」と答えた人の割合を算出。その値で、市民の幸せ感を測定

問2 問1と同様の割合を算出。その値で、まちづくりを自分自身の問題と捉え、行政と一緒に考え行動する、わがまちプランに定める市民自治の精神の広がりや測定

結果概要(問1と問2を紹介)

これからの取り組み
このアンケートで、性別、年齢別などの回答の違いや、各問の自由記述から浮かび上がってくる市の強い

ところや弱いところ、また、市民が普段の生活で感じている幸せ、あるいは心配な部分についても分析していますので問3、問4の結果とともに改めてご紹介します。

今後は、これらの分析結果から見えてくる行政課題の克服に加え、アンケートをわがまちプランの計画期間中継続して実施し、市民の皆さんの幸せ感が実際に高まっているか、毎年確認しながら、本市での暮らしの魅力を増すための市政運営に取り組めます。

なお、調査結果の詳しい内容は、情報公開コーナー(市役所1階)、各支所、図書館、総合市民会館、小方公民館、栄公民館、市ホームページをご覧ください。